

令和4年度
地方検査員等講習会

令和4年6月

出納局検査課

はじめに

検査業務の円滑な推進を目的に毎年開催している地方検査員講習会ですが、本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、集合型の講習会ではなく自学自習型として別紙のとおり実施しますので了知願います。

本年度の講習会資料について

- ・従来、全体会と農林・土木の各分科会ごとに分かれていた資料を一本化しました。
- ・令和2年3月10日付け出検号外で通知した『工事成績評価における品質のばらつき判定の取り扱い』について工事成績調書の改訂に伴い『工事検査の進め方』P25に修正して掲載しました。
- ・『工事検査の進め方』P11～12(4)「検査での着目点」の7項目に沿って、専門検査員の最近の検査での主な指導事項を、P50以降に[参考]として掲載しました。

目 次

1	令和4年度出納局検査課の基本方針等について	
	(1) 令和4年度出納局検査課の基本方針と主要な取組	1
	(2) 令和3年度工事検査実績	2
	① 専門検査員検査実績	2
	② 地方検査員検査実績(工事検査第一班)	8
	③ " (工事検査第二班)	12
	④ 特命検査員検査実績	16
	(3) 工事の適切な施工について(粗雑工事等事例紹介含む)	18
2	工事検査の進め方 (別 冊)	

1 令和4年度出納局検査課の基本方針等について

(1) 令和4年度出納局検査課の基本方針と主要な取組

1 基本方針

「適正かつ迅速な工事検査の実施」

(1) 工事検査の円滑な実施

工事検査について、確実な契約の履行確保に向け、計画的・効率的に実施するとともに中間検査を促進することにより、工事目的物の品質の確保・向上に努める。

(2) 公平かつ客観的な工事成績評定の確保

県発注工事の中から優良建設工事施工業者を表彰するとともに、工事成績評定の公表や公平性・客観性の確保に取り組み、受注へのインセンティブを付与することにより、県内企業の技術力向上を支援する。

(3) 工事監督業務への支援

復旧・復興工事に加え、近年頻発している自然災害への対応等により多忙を極める工事監督業務に関して、講習会等を開催することなどにより、技術職員のレベルアップを支援する。

2 主要な取り組み

① 計画的・効率的な工事検査の実施

・ 工事執行機関と連携した適時・適切な検査の実施

② 中間検査の充実・促進

・ 工事施工段階での確認強化
・ 受検者への指導強化

③ 検査情報の共有化

・ 考査内容の明確化による検査レベルの平準化
・ 受検者からのフィードバックの反映

④ 工事成績評定の改正の検証

・ 改正後の評定点の集約・分析

⑤ 「工事検査書類限定型モデル工事」の実施に係る検査関係資料の整理

・ 「考査の手引き」等の改正
・ 工事検査に係る監督員との役割分担

⑥ 事業管理課等関係課との定期的な協議・情報交換

⑦ 優良建設工事施工業者の育成

・ 県発注工事の中から模範となる優良工事を選定し受注者を表彰
・ 工事成績考査結果の上位者をランキング形式で公表

⑧ 建設関連業務における成績評定の検討

・ 入札契約検討部会における効果的・効率的な業務推進の検討

⑨ 工事書類の簡素化の検討

・ 入札契約検討部会における工事書類の簡素化の検討

⑩ 講習会等の開催による工事検査に関する知識等の習得支援

⑪ 適正かつ円滑な工事監督業務に向けた関係部署との情報共有・連携

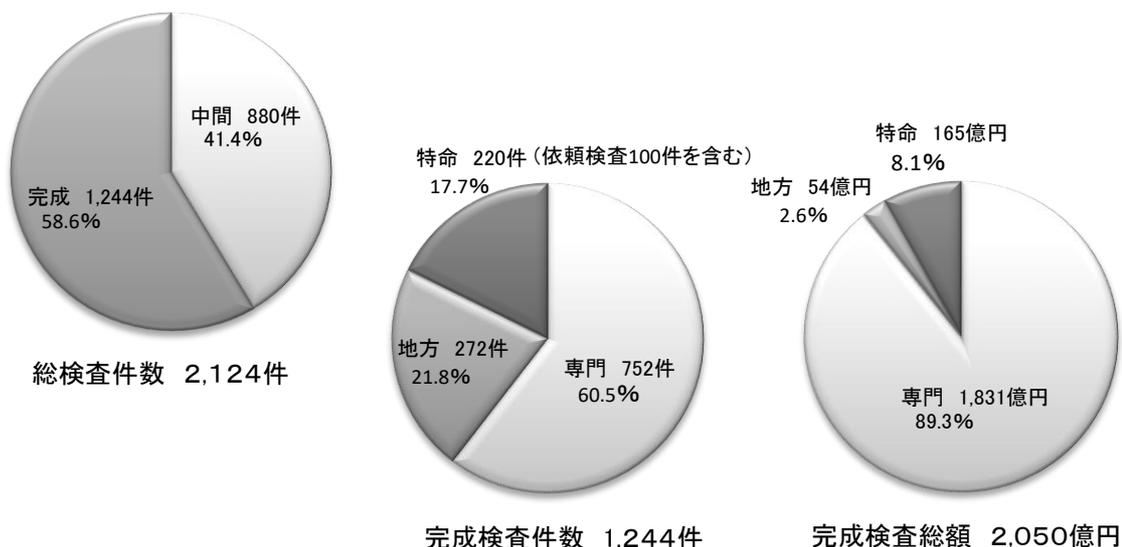
(2) 令和3年度工事検査実績

① 専門検査員検査実績

令和3年度の工事検査実績をとりまとめた結果は次のとおり。
データ集計期間は、令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。

I 実績／全体

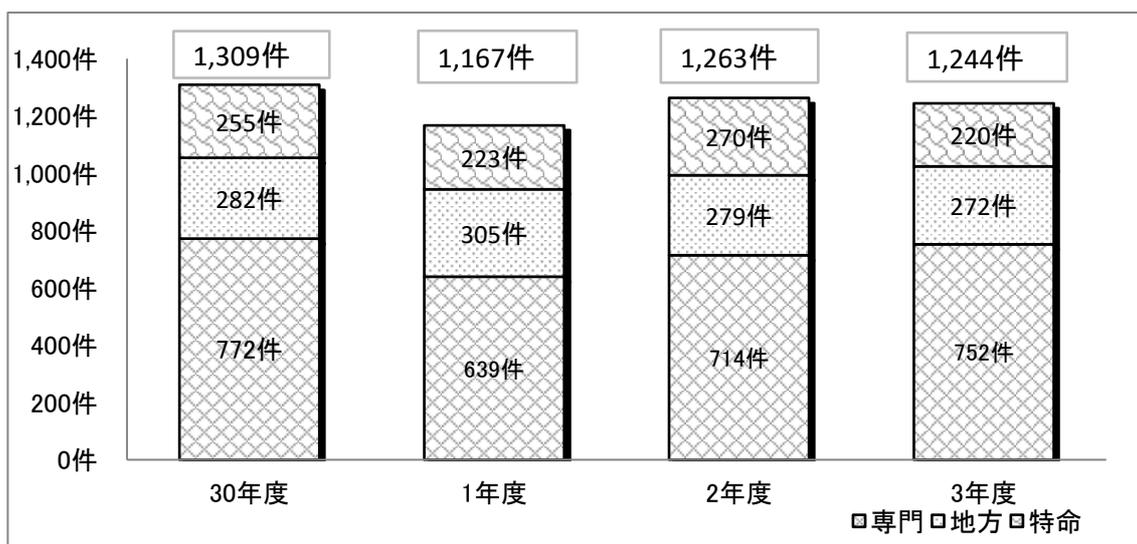
1) 検査件数／完成／中間



◇令和3年度の総検査件数(専門・地方・特命検査員検査合計)は、2,124件(R2は2,291件)だった。うち、完成検査は1,244件(58.6%)、中間検査は880件(41.4%)だった。

完成検査のうち専門検査員検査は752件(60.5%)、1,831億円(89.3%)だった。

2) 検査件数／完成／推移



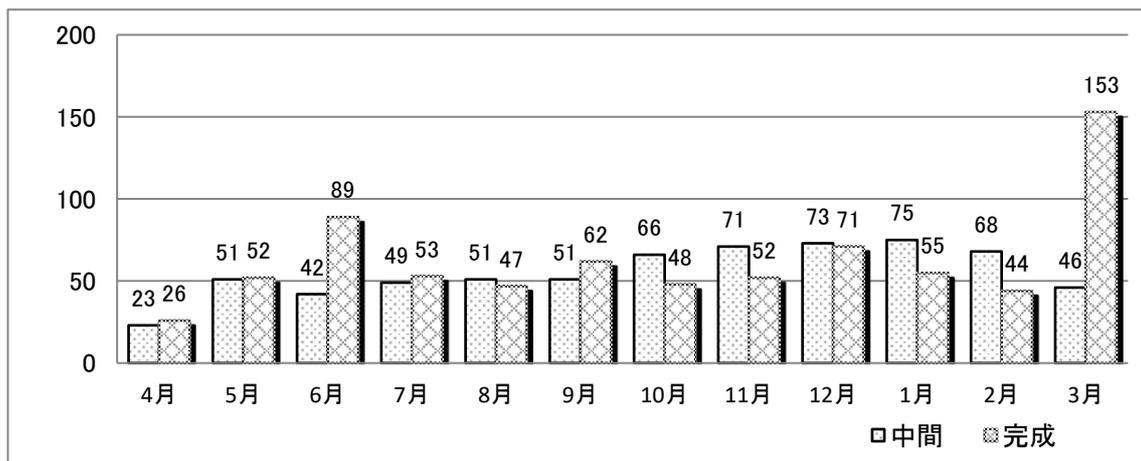
◇令和3年度完成検査件数は前年から専門検査員検査は増加、地方検査員検査及び特命検査員検査は減少し、合計で19件減少した。

備考 専門検査員は、検査課に所属し、主として契約額が4,000万円以上の発注工事を検査。

地方検査員は、県工事検査規程で定められた地方機関に配属され、契約額が4,000万円未満の当該機関発注工事を
特命検査員は、主務課長又は所長に別に職員のうちから任命され、県工事検査執行要領の範囲内の工事を検査。

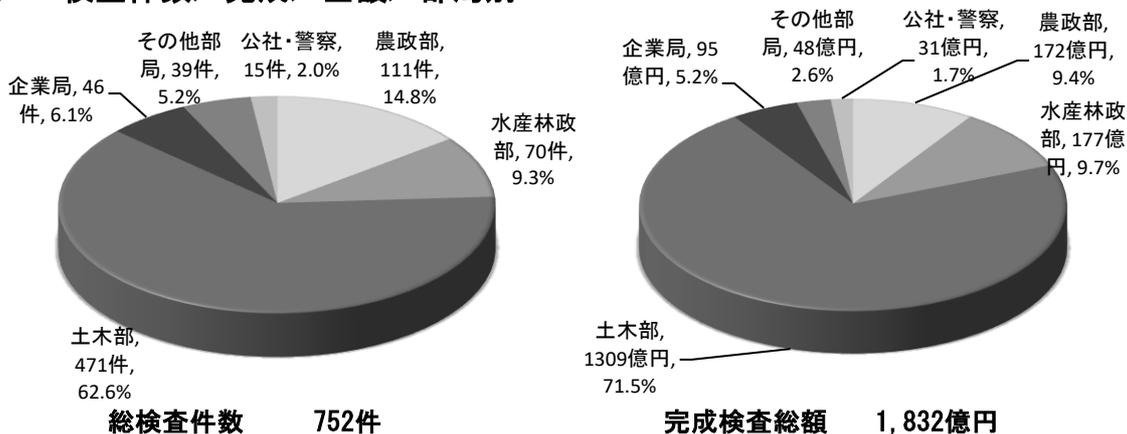
Ⅱ 実績／専門検査員

1) 検査件数／月別



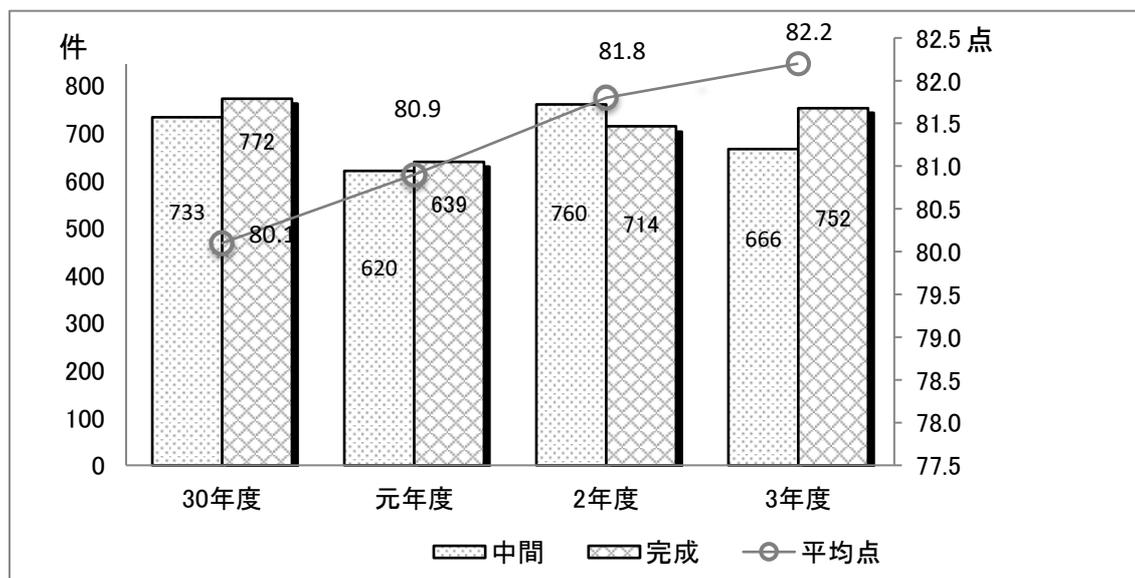
◇月ごとの専門検査員の完成検査件数は、4月(26件)が最も少なく、3月(153件)が最も多くなり突出した。中間検査件数は、4月は23件と少なかったが、5月から3月まで毎月40～80件程度で推移した。

2) 検査件数／完成／金額／部局別



◇専門検査員の完成検査件数は農政部、水産林政部と土木部の工事で86.7%(金額で90.6%)を占めた。

3) 検査件数／平均点／推移



◇専門検査員の完成検査件数は前年から38件の増、中間検査件数は94件の減となった。
◇工事成績の平均点(審査を行った744件の平均)は、前年から0.4点高くなった。

Ⅲ 中間検査の実施と工事成績／専門検査員

1) 検査件数／平均点／中間検査実施率

◇完成検査は考査を行った工事を対象とする

	件数	合計点	平均点	中間検査実施率	備考	
R2	検査全体	1,454				
	■ 中間検査	760		109.5%	※1	
	■ 完成検査	694	56,784	81.8	79.7%	※2
	中間検査無	141	11,366	80.6		20.3%
	中間検査有	553	45,418	82.1		79.7%
	□ 低入札工事	55	4,527	82.3	83.6%	※2
	中間検査無	9	722	80.2		16.4%
	中間検査有	46	3,805	82.7		83.6%
	□ 非低入札工事	639	52,257	81.8	79.3%	※2
	中間検査無	132	10,644	80.6		20.7%
中間検査有	507	41,613	82.1		79.3%	
R3	検査全体	1,410				
	■ 中間検査	666		89.5%	※1	
	■ 完成検査	744	61,132	82.2	83.1%	※2
	中間検査無	126	10,206	81.0		16.9%
	中間検査有	618	50,926	82.4		83.1%
	□ 低入札工事	50	4,108	82.2	82.0%	※2
	中間検査無	9	732	81.3		18.0%
	中間検査有	41	3,376	82.3		82.0%
	□ 非低入札工事	694	57,024	82.2	83.1%	※2
	中間検査無	117	9,474	81.0		16.9%
中間検査有	577	47,550	82.4		83.1%	
前年比		R3/R2	平均点の差(点)	中間検査実施率の差		
	検査全体	97.0%				
	■ 中間検査	87.6%		-20.0pt		
	■ 完成検査	107.2%	0.4	3.4pt		
	中間検査無	89.4%	0.4			
	中間検査有	111.8%	0.3			
	□ 低入札工事	90.9%	-0.1	-1.6pt		
	中間検査無	100.0%	1.1			
	中間検査有	89.1%	-0.4			
	□ 非低入札工事	108.6%	0.4	3.8pt		
中間検査無	88.6%	0.4				
中間検査有	113.8%	0.3				

※1 見掛中間検査実施率:完成検査件数と中間検査件数の単純比率

※2 実質中間検査実施率:完成検査件数とそのうちの中間検査受検済みの完成検査件数の比率

※ 備考欄の「%」は中間検査”無”と中間検査”有”の割合を示す

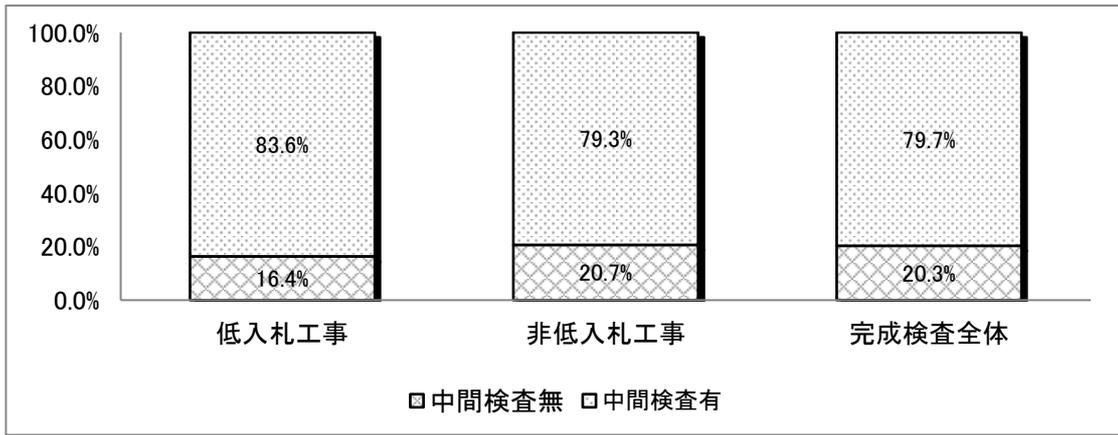
◇令和3年度の専門検査員による検査件数は1,418件で、前年度比96.2%(56件の減)だった。

◇そのうち、中間検査は666件(前年度比87.6%)、完成検査は752件(前年度比105.3%)だった。

◇成績考査対象の完成検査744件のうち、中間検査を一回以上受検した工事の割合は83.1%だった。

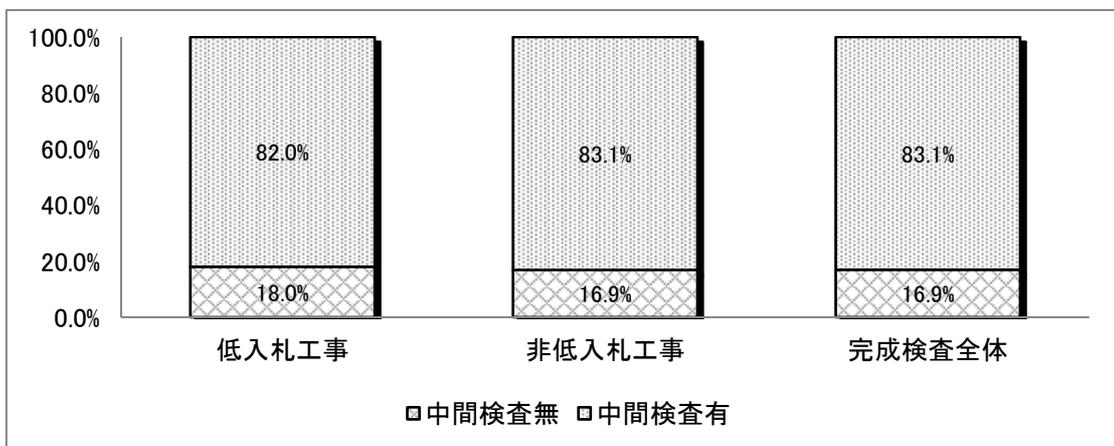
◇中間検査実施状況で平均点を比較すると、中間検査実施工事が82.4点、中間検査未実施工事が81.0点と、平均点に1.4点の差があった。

R2年度



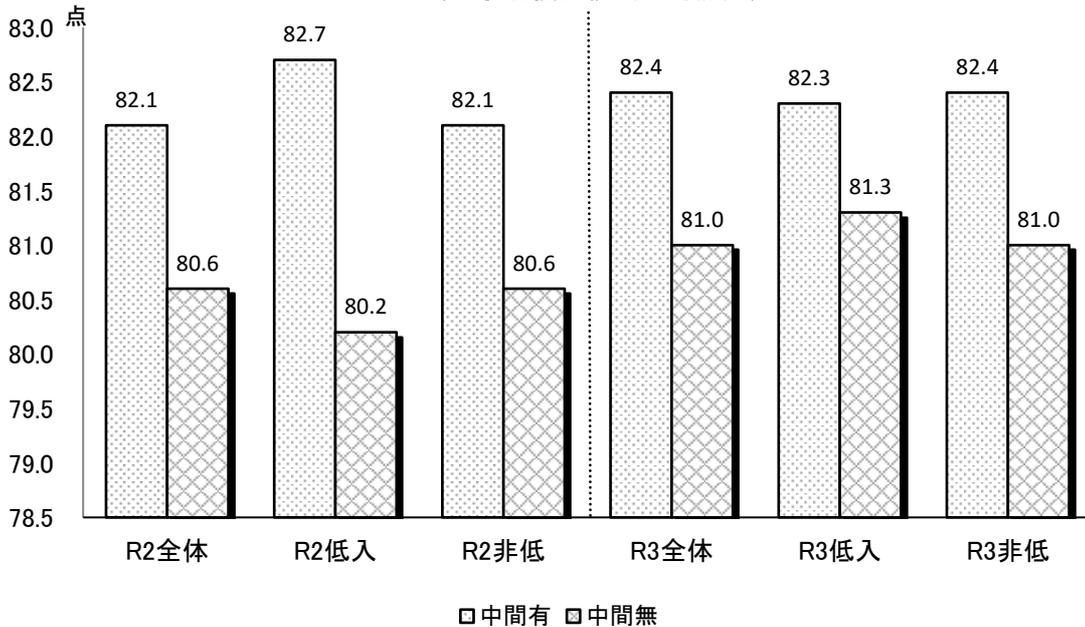
◇令和2年度に実施した完成検査において中間検査を一回以上受検した工事は79.7%、うち低入札工事では83.6%、非低入札工事では79.3%だった。

R3年度



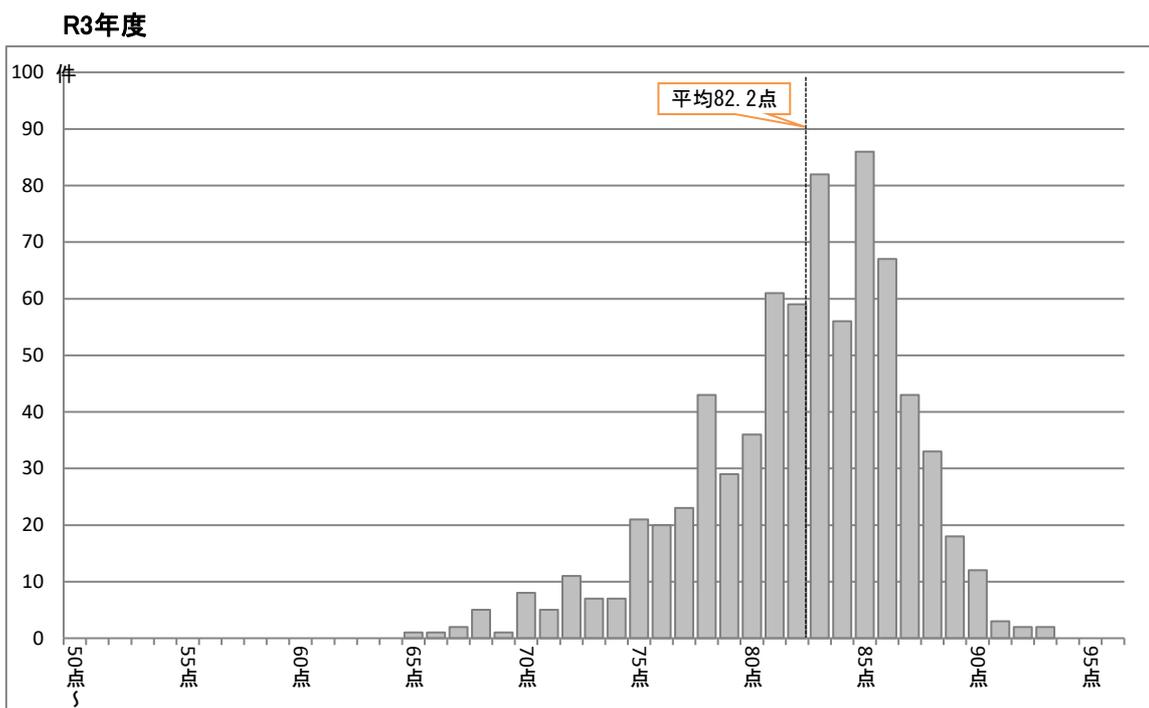
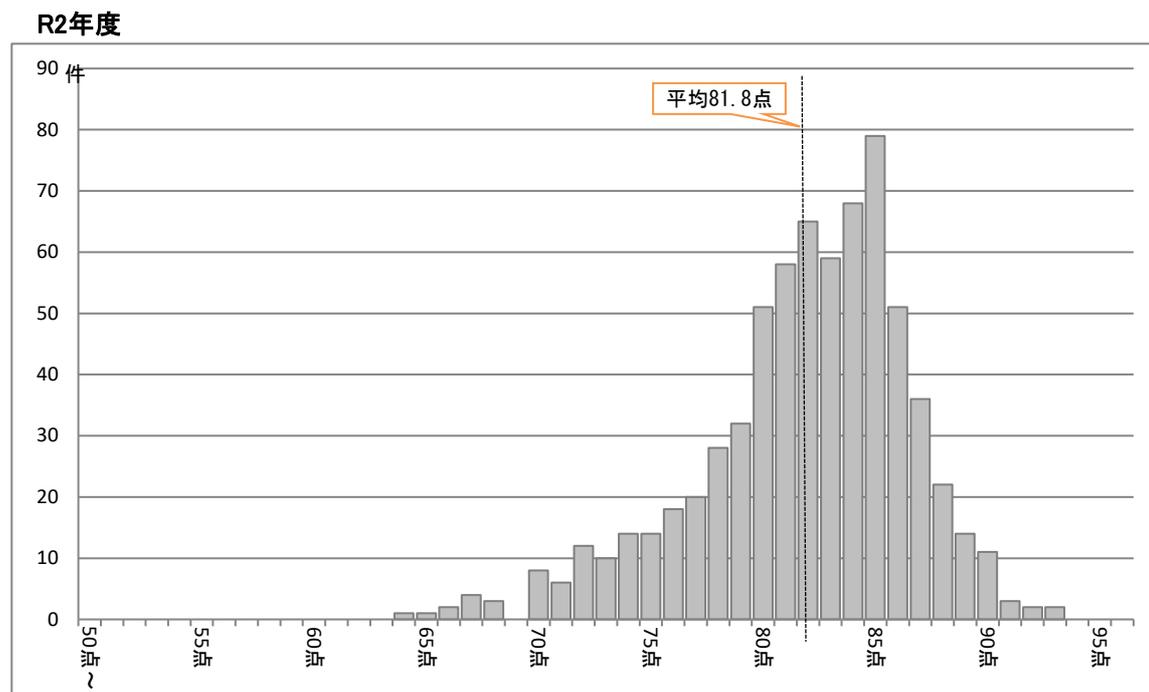
◇令和3年度に実施した完成検査において中間検査を一回以上受検した工事は83.1%と、前年度に比べて中間検査実施率は3.4ポイント増加した。

〔工事成績比較（平均点）〕



2) 工事成績分布

〔工事成績の分布〕



◇令和3年度における工事成績平均点は82.2点、最頻値は85点だった。前年度と同様に高得点側に傾く傾向があった。

IV 令和3年度検査結果と主な指導事項

1) 令和3年度検査結果と令和4年度目標

【検査結果】

- 令和3年度の検査件数は、2,117件と前年度に比べ174件(7.6%)減少した。また完成検査については、1,237件と前年度に比べ26件(2.1%)減少し、総検査件数に占める完成検査の割合は高くなった。
- 専門検査員による完成検査の工事成績の平均点は82.2点と前年度(81.8点)に比べ0.4点高くなった。
- 中間検査実施率は83.1%となり、前年度に比べ3.4ポイント増加した。工事成績を中間検査の有無で分けると、1.4点の格差が見られる。

【目標】

- 中間検査の促進については年度目標として掲げてきたもので、中間検査の実施について監督員に指導願いたい。
- 東日本大震災での復旧・復興事業の大規模工事や令和元年度の東日本台風による災害復旧工事などは今年度完成を迎えるが、令和2～3年に発生した福島県沖地震による災害復旧工事や国土強靱化予算による工事が引き続き残るため、建設工事の適正な履行を確認するとともに、安全で高品質な公共施設を提供するために、適正かつ迅速な工事検査を実施する。
- 品質確保のためには、工事施工段階での確認や指導が有効な手段であることから、中間検査実施率を高めるよう取り組むとともに、引き続き工事成績評定の客観性、透明性、公平性の向上に取り組む。

2) 検査時における主な指導事項

- 工事請負契約書第19条第1項の規定に基づく設計図書の照査を確認。**特に基準高の確認およびKBMの設置精度**(軟弱地盤の沈下の影響を受けていないか?)。
- 工事着手前に、必要な手順や工法(具体的な内容)を記載した施工計画書が提出されているかを確認。
- 「施工計画書」において、大雨や地震等の異常気象における作業中止基準、再開基準及び避難場所、避難経路が具体的に定められているかの確認。**また、変更事案発生時の着手前施工計画書作成や休日計画の完全実施を指導。**
- 下請承認書類、施工台帳及び施工体系図が適切に整理されているかを確認し、**施工計画書の組織図への反映を指導。**
- 「品質管理」において、工種試験方法、測定頻度及び管理方法等が適切かを確認。
- 「出来形管理」において、工種、測定位置及び測定頻度が適切かを確認。
- 「写真管理」において、各工事の施工段階、工事完了後に明視できない箇所がないかを確認。
- 「品質証明」において、種別、細別、管理項目、管理箇所及び数量が適切かを確認。
- 「安全管理」について、主要な各工事段階における安全施工計画が作成されているか、安全訓練等の実施計画及び安全訓練が実施されているかを確認。
- 「緊急時の体制及び対応」について、労働災害や公衆災害等の発生時における、受注者と警察署、消防署、労働基準監督署等の関係機関への連絡体制及び連絡方法が適切かを確認。
- 「交通管理」について、保安設置計画書及び保守点検計画が適切かを確認。
- 「環境対策」について、騒音・振動・地盤沈下・水質汚濁等に対する配慮が適切で、これらに対する措置が明確かを確認。
- 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正な処理方法について、「再生資源利用計画書」及び「建設廃棄物処理計画」等が作成され、適正に処理されているかを確認。

② 地方検査員検査実績（工事検査第一班所管分）

1 地方検査員

1) 検査実施件数

工事検査第1班所管公所での地方検査員の検査実績は、完成検査が94件で前年度の118件に比べ24件減少（79.7%）しており、中間検査等は14件で前年度の61件に比べ47件減少（22.9%）しており、検査全件数としては前年度の179件に比べ71件減の108件（60.3%）でした。

また、中間検査等の実施件数については14件で、うち11件（78.5%）は契約書第38条に関する出来高検査や同39条に関する指定部分完成検査でしたが、契約書第31条に係る本来の中間検査は3件（21.4%）実施しており、前年度の全61件のうち中間検査は9件（14.8%）で6.6ポイント割合が高くなりました。

2) 中間検査実施率

工事検査第1班所管公所では完成検査94件のうち、中間検査実施済み件数は15件で、中間検査の実施率は16.0%と前年度9件の7.6%に比べ8.4ポイント上がっています。

令和3年度工事検査第1班所管公所別地方検査員検査実施状況

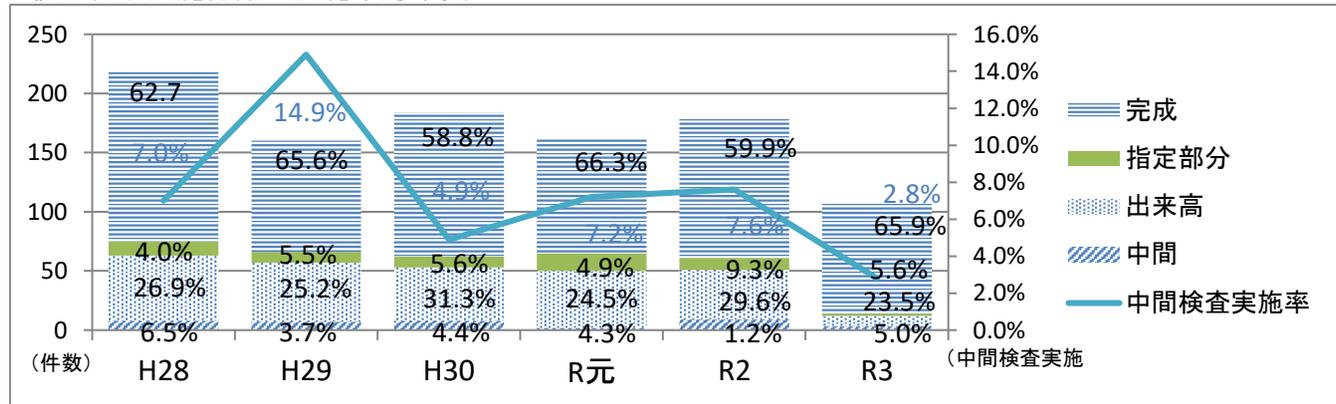
事務所	区分	検査実施状況										平均工 事成績 点数	65点 未満	85点 以上	
		中間検査(出来高 検査等含)		完成検査		計		完成検査の内、 中間検査実施数		中間検査実施率					
		内5百万円 以上		内5百万円 以上		内5百万円 以上		内5百万円 以上		内5百万円 以上					
大河原地振	低入														
	非低入	1	1	5	4	6	5	0	0	0.0%	0.0%	77.3	0	0	
	計	1	1	5	4	6	5	0	0	0.0%	0.0%	77.3			
仙台地振	低入														
	非低入	8	8	12	9	20	17	6	5	50.0%	55.6%	81.3	0	2	
	計	8	8	12	9	20	17	6	5	50.0%	55.6%	81.3			
北部地振	低入														
	非低入	0	0	9	9	9	9	0	0	0.0%	0.0%	82.6	0	1	
	計	0	0	9	9	9	9	0	0	0.0%	0.0%	82.6			
北部地振 栗原地域	低入														
	非低入	0	0	9	6	9	6	2	1	22.2%	16.7%	81.7	0	1	
	計	0	0	9	6	9	6	2	1	22.2%	16.7%	81.7			
東部地振	低入														
	非低入	0	0	12	11	12	11	0	0	0.0%	0.0%	81.8	0	1	
	計	0	0	12	11	12	11	0	0	0.0%	0.0%	81.8			
東部地振 登米地域	低入														
	非低入	0	0	6	5	6	5	2	2	33.3%	40.0%	80.8	0	1	
	計	0	0	6	5	6	5	2	2	33.3%	40.0%	80.8			
気仙沼地振	低入														
	非低入	2	2	7	7	9	9	1	1	14.3%	14.3%	79.4	0	1	
	計	2	2	7	7	9	9	1	1	14.3%	14.3%	79.4			
王城寺原	低入														
	非低入	1	1	1	1	2	2	1	1	100%	100%	81.0	0	0	
	計	1	1	1	1	2	2	1	1	100%	100%	81.0			
地振事務所 計	低入	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	-	0	7	
	非低入	12	12	61	52	73	64	12	10	19.7%	19.2%	81.1			
	計	12	12	61	52	73	64	12	10	19.7%	19.2%	81.1			
大崎広水	低入														
	非低入	2	2	15	9	17	11	2	2	13.3%	22.2%	82.0	0	1	
	計	2	2	15	9	17	11	2	2	13.3%	22.2%	82.0			
山南仙塩広水	低入														
	非低入	0	0	18	12	18	12	1	1	5.6%	8.3%	82.8	0	6	
	計	0	0	18	12	18	12	1	1	5.6%	8.3%	82.8			
企業局計	低入	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	-	0	7	
	非低入	2	2	33	21	35	23	3	3	9.1%	14.3%	82.4			
	計	2	2	33	21	35	23	3	3	9.1%	14.3%	82.4			
合計	低入	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	-	0	14	
	非低入	14	14	94	73	108	87	15	13	16.0%	17.8%	81.5			
	計	14	14	94	73	108	87	15	13	16.0%	17.8%	81.5			
(参考) R2年度	低入	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	-	0	10	
	非低入	61	59	118	77	179	136	9	8	7.6%	10.4%	80.1			
	計	61	59	118	77	179	136	9	8	7.6%	10.4%	80.1			

工事検査第1班所管公所別地方検査員検査実施状況（経年）

検査種別実施件数及び中間検査実施率

検査種別	H28		H29		H30		R元		R2		R3	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
中間検査	8	3.7%	7	4.4%	8	4.3%	2	1.2%	9	5.0%	3	2.8%
出来高検査	55	25.2%	50	31.3%	45	24.5%	48	29.6%	42	23.5%	9	8.3%
指定部分完成検査	12	5.5%	9	5.6%	9	4.9%	15	9.3%	10	5.6%	2	1.9%
完成検査	143	65.6%	94	58.8%	122	66.3%	97	59.9%	118	65.9%	94	87.0%
計	218		160		184		162		179		108	
中間検査実施率	7.0%		14.9%		4.9%		7.2%		7.6%		2.8%	

検査種別実施件数・実施率分布表



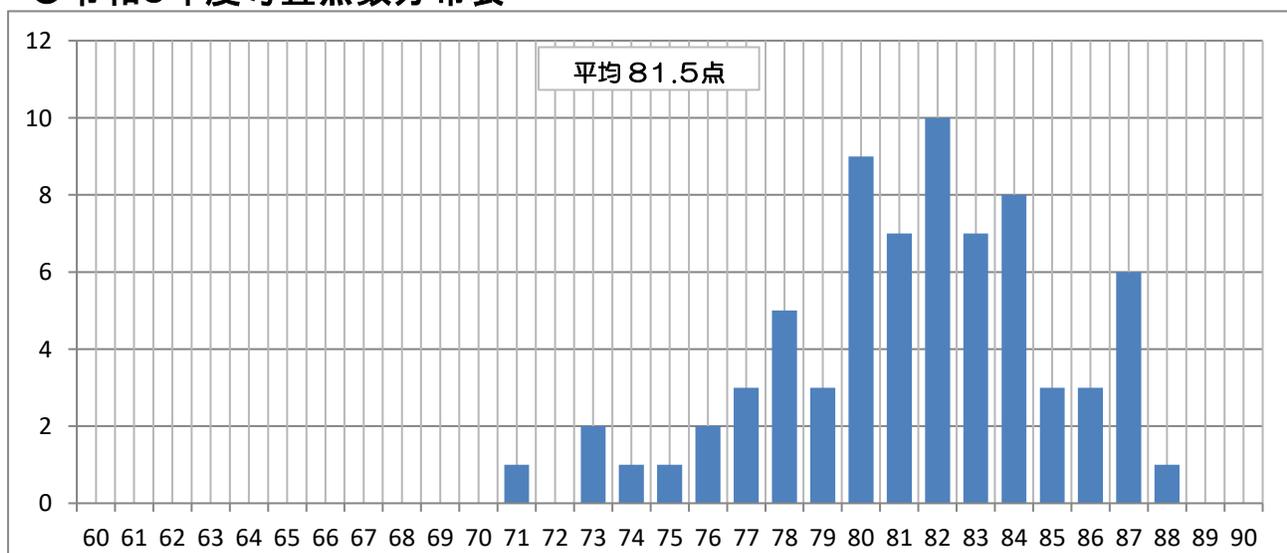
3) 考査点数

工事検査第1班所管公所の地方検査員の考査平均点数は81.5点で、前年度の80.1点を1.4点上回っており、優良工事の基準である85点以上の件数は前年度の12件から令和3年度は14件の2件増で、ほぼ横ばいとなっている。また、考査点の分布状況は前年度80点以上が47件で61.0%を占めていたが、令和3年度における80点以上は55件の75.3%で、比率としては14.3ポイント増加している。

令和3年度工事検査第1班所管公所・部別地方検査員考查点分布状況

事務所・部	区分	点数別内訳							計	最低点	最高点	平均点
		64点以下	65～69点	70～74点	75～79点	80～84点	85～89点	90点以上				
大河原地振	NN	件数			2				2	77	78	77.5
	割合				100.0%							
林	件数			1		1			2	73	81	77.0
	割合			50.0%		50.0%						
仙台地振	NN	件数		1		3	1		5	73	87	81.4
	割合			20.0%		60.0%	20.0%					
林	件数				1	2	1		4	78	86	81.3
	割合				25.0%	50.0%	25.0%					
北部地振	NN	件数			1	5	1		7	78	86	82.7
	割合				14.3%	71.4%	14.3%					
林	件数					2			2	80	84	82.0
	割合					100%						
北部地振 栗原地域	NN	件数			2	3	1		6	76	87	81.7
	割合				33.3%	50.0%	16.7%					
林	件数									-	-	-
	割合											
東部地振	NN	件数			1	4			5	76	84	80.8
	割合				1.3%	80.0%						
林	件数					5	1		6	80	88	82.7
	割合					83%	17%					
東部地振 登米地域	NN	件数		1		3	1		5	74	85	80.8
	割合			20%		60%	20.0%					
林	件数								0	-	-	-
	割合											
気仙沼地振	NN	件数			2	1			3	77	80	78.3
	割合				66.7%	33.3%						
林	件数				3		1		4	77	87	80.3
	割合				75.0%		25.0%					
王城寺原	件数					1			1	81	81	81.0
	割合					100.0%						
地振事務所計	件数			3	12	30	7		52	71	88	81.1
	割合			5.8%	23.1%	57.7%	13.5%					
大崎広水	件数				1	7	1		9	75	85	82.0
	割合				11.1%	77.8%	11.1%					
仙南仙塩広水	件数			1	1	4	6		12	71	87	82.8
	割合			8.3%	8.3%	33.2%	50.0%					
企業局計	件数			1	2	11	7		21	76	87	82.4
	割合			4.8%	9.5%	52.4%	33.3%					
合計	件数			4	14	41	14		73	71	88	81.5
	割合			5.5%	19.2%	56.2%	19.2%					
(参考) R2年度	件数			5	25	35	12		77	71	88	80.1
	割合			6.5%	32.5%	45.5%	15.6%					

○令和3年度考查点数分布表



③ 地方検査員検査実績(工事検査第二班所管分)

1) 検査実施件数

工事検査第2班所管公所における地方検査員の検査件数は、完成検査が178件で前年度に比べ17件の増(110.6%)であり、中間検査は135件で前年度に比べ15件の減(90.0%)となった。

検査件数全体としては前年度と比べ2件増の313件(100.6%)だった。

地方検査員の中間検査135件のうち72件(53.3%)は契約書第41条に関する出来高検査や同42条に関する指定部分完成検査となっており、契約書第33条に係る本来の中間検査は63件(46.7%)実施している。

2) 中間検査実施率

工事検査第2班所管公所における地方検査員の完成検査178件のうち、完成検査前に中間検査を実施した件数は53件で、中間検査の実施率は29.8%であった。令和2年度と比べ、件数で11件の増であり、実施率は3.7ポイント上がっている。令和3年度の中間検査実施率も20%台であり、前年度と同程度の実施率で推移していた結果となった。

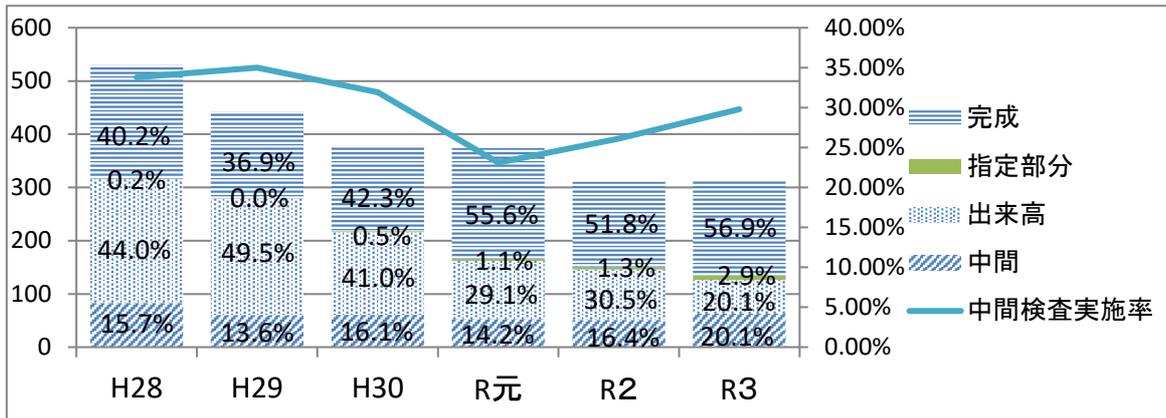
令和3年度工事検査第2班所管公所別地方検査員検査実施状況

事務所	区分	検査実施状況										平均工事成績点数	65点未満	85点以上			
		中間検査(出来高検査等含)		完成検査		計		完成検査の内、中間検査実施数		中間検査実施率							
		低入	非低入	低入	非低入	低入	非低入	低入	非低入	低入	非低入						
大河原土木	低入	1	1			1	1										
	非低入	22	22	9	7	31	29	3	3	33.3%	42.9%	77.4	0	0			
	計	23	23	9	7	32	30	3	3	33.3%	42.9%	77.4					
仙台土木	低入	2	2			2	2										
	非低入	29	29	23	22	52	51	15	15	65.2%	68.2%	82.7	0	6			
	計	31	31	23	22	54	53	15	15	65.2%	68.2%	82.7					
北部土木	低入			1	1	1	1					82.0					
	非低入	19	19	17	16	36	35	5	5	29.4%	31.3%	81.2	0	0			
	計	19	19	18	17	37	36	5	5	27.8%	29.4%	81.2					
北部土木 栗原地域	低入																
	非低入	8	8	9	9	17	17	6	6	66.7%	66.7%	79.9	0	0			
	計	8	8	9	9	17	17	6	6	66.7%	66.7%	79.9					
東部土木	低入	2	2			2	2										
	非低入	25	25	14	14	39	39	12	12	85.7%	85.7%	79.7	0	0			
	計	27	27	14	14	41	41	12	12	85.7%	85.7%	79.7					
東部土木 登米地域	低入																
	非低入	4	4	5	3	9	7	2	2	40.0%	66.7%	79.7	0	2			
	計	4	4	5	3	9	7	2	2	40.0%	66.7%	79.7					
気仙沼土木	低入	1	1			1	1										
	非低入	15	15	14	14	29	29	9	9	64.3%	64.3%	78.1	0	0			
	計	16	16	14	14	30	30	9	9	64.3%	64.3%	78.1					
土木事務所 計	低入	6	6	1	1	7	7	0	0	0.0%	0.0%	82.0					
	非低入	122	122	91	85	213	207	52	52	57.1%	61.2%	80.3	0	8			
	計	128	128	92	86	220	214	52	52	56.5%	60.5%	80.3					
仙台塩釜 港湾	低入			1	1	1	1					82.0					
	非低入			4	4	4	4			0.0%	0.0%	80.8	0	0			
	計	0	0	5	5	5	5	0	0	0.0%	0.0%	81.0					
石巻港湾	低入																
	非低入			8	7	8	7			0.0%	0.0%	83.4	0	0			
	計	0	0	8	7	8	7	0	0	0.0%	0.0%	83.4					
中南部下水	低入			1	1	1	1					83.0					
	非低入			11	8	11	8			0.0%	0.0%	81.8	0	2			
	計	0	0	12	9	12	9	0	0	0.0%	0.0%	81.9					
東部下水	低入																
	非低入	1	1	5	3	6	4			0.0%	0.0%	77.0	0	0			
	計	1	1	5	3	6	4	0	0	0.0%	0.0%	77.0					
仙台地方 ダム	低入																
	非低入			9	6	9	6			0.0%	0.0%	83.5	0	1			
	計	0	0	9	6	9	6	0	0	0.0%	0.0%	83.5					
大崎地方 ダム	低入																
	非低入			22	9	22	9			0.0%	0.0%	80.8	0	3			
	計	0	0	22	9	22	9	0	0	0.0%	0.0%	80.8					
栗原地方 ダム	低入																
	非低入			5	5	5	5			0.0%	0.0%	81.6	0	0			
	計	0	0	5	5	5	5	0	0	0.0%	0.0%	81.6					
仙台地振 水産漁港部	低入																
	非低入			2	2	2	2			0.0%	0.0%	84.0	0	0			
	計	0	0	2	2	2	2	0	0	0.0%	0.0%	84.0					
東部地振 水産漁港部	低入																
	非低入	1	1	6	5	7	6	1	1	16.7%	0.0%	79.6	0	0			
	計	1	1	6	5	7	6	1	1	16.7%	0.0%	79.6					
気仙沼地振 水産漁港部	低入																
	非低入	5	5	12	12	17	17			0.0%	0.0%	79.5	0	0			
	計	5	5	12	12	17	17	0	0	0.0%	0.0%	79.5					
合計	低入	6	6	3	3	9	9	0	0	0.0%	0.0%	82.3					
	非低入	129	129	175	146	304	275	53	53	30.3%	36.3%	80.7	0	14			
	計	135	135	178	149	313	284	53	53	29.8%	35.6%	80.7					
(参考) R2年度	低入	13	13	6	6	19	19	3	3	50.0%	50.0%	75.2					
	非低入	137	135	155	122	292	257	39	38	25.2%	31.1%	80.2	0	16			
	計	150	148	161	128	311	276	42	41	26.1%	32.0%	80.0					

工事検査第2班所管公所における地方検査員検査実施状況（経年）

検査種別別実施件数及び中間検査実施率

検査種別	H28		H29		H30		R元		R2		R3	
	件数	比率										
中間検査	83	15.7%	60	13.6%	61	16.1%	53	14.2%	51	16.4%	63	20.1%
出来高検査	233	44.0%	219	49.5%	155	41.0%	109	29.1%	95	30.5%	63	20.1%
指定部分完成検査	1	0.2%	0	0.0%	2	0.5%	4	1.1%	4	1.3%	9	2.9%
完成検査	213	40.2%	163	36.9%	160	42.3%	208	55.6%	161	51.8%	178	56.9%
計	530		442		378		374		311		313	
中間検査実施率	33.8%		35.0%		31.9%		23.1%		26.1%		29.8%	



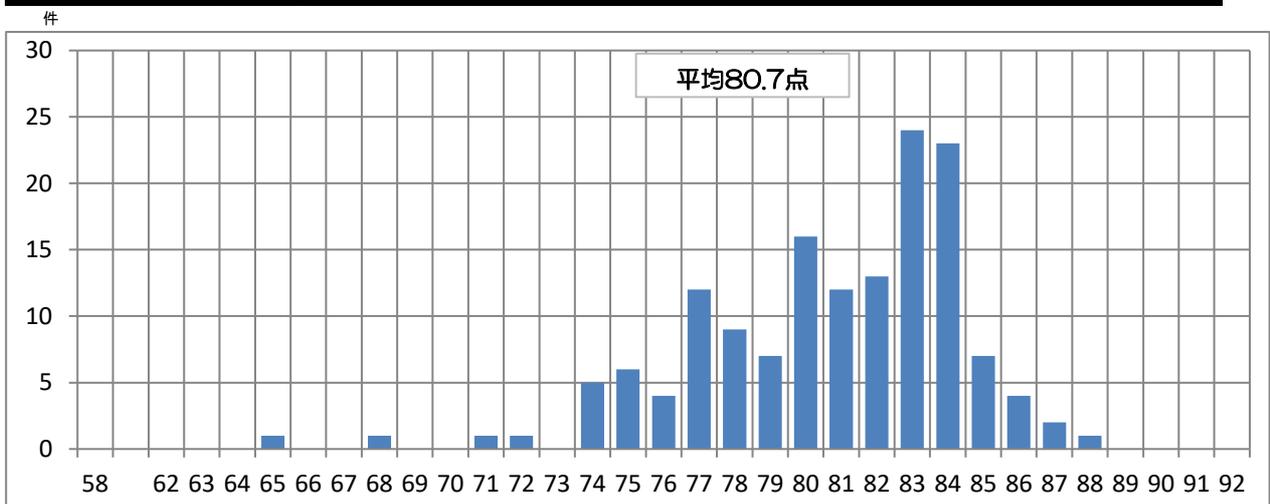
3) 考査点数

工事検査第2班所管公所における地方検査員の考査点数は、平均**80.7**点で、前年度と比べ**0.7**点高くなったが、優良工事の基準となる85点以上の件数については前年度の**16**件から**2**件減った**14**件となっている。考査点数の分布状況としては、前年度は80点以上が**62.5%**を占めていた状況であったが、令和3年度は80点以上を**68.5%**を占める状況と増加している。

また、65点未満となった工事は工事成績調書における「法令遵守等」項目での減点修正結果もなかったことから、0件であった。

令和3年度工事検査第2班所管公所別地方検査員考查点分布状況

事務所	区分	点数別内訳							計	最低点	最高点	平均点
		64点以下	65~69点	70~74点	75~79点	80~84点	85~89点	90点以上				
大河原土木	件数 割合		1 14.3%		3 42.9%	3 42.9%			7	68	82	77.4
仙台土木	件数 割合				3 13.6%	13 59.1%	6 27.3%		22	77	87	82.7
北部土木	件数 割合				3 17.6%	14 82.4%			17	75	84	81.2
北部土木 栗原地域	件数 割合				4 44.4%	5 55.6%			9	75	83	79.9
東部土木	件数 割合			3 21.4%	1 7.1%	10 71.4%			14	71	84	79.7
東部土木 登米地域	件数 割合		1 33.3%				2 66.7%		3	65	88	79.7
気仙沼土木	件数 割合				10 71.4%	4 28.6%			14	75	83	78.1
土木事務所計	件数 割合	0 0.0%	2 2.3%	3 3.5%	24 27.9%	49 57.0%	8 9.3%	0 0.0%	86	65	88	80.3
仙台塩釜港湾	件数 割合				1 20.0%	4 80.0%			5	79	84	81.0
石巻港湾	件数 割合					7 100%			7	83	84	83.4
中南部下水	件数 割合				2 22.2%	5 55.6%	2 22.2%		9	77	85	81.9
東部下水	件数 割合			1 33.3%	2 66.7%				3	74	79	77.0
仙台地方ダム	件数 割合					5 83.3%	1 16.7%		6	80	86	83.5
大崎地方ダム	件数 割合			1 11.1%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%		9	74	87	80.8
栗原地方ダム	件数 割合				1 20.0%	4 80.0%			5	78	84	81.6
仙台地振 水産漁港部	件数 割合					2 100.0%			2	84	84	84.0
東部地振 水産漁港部	件数 割合				2 40.0%	3 60.0%			5	77	83	79.6
気仙沼地振 水産漁港部	件数 割合			2 16.7%	4 33.3%	6 50.0%			12	74	84	79.5
合計	件数 割合	0 0.0%	2 1.3%	7 4.7%	38 25.5%	88 59.1%	14 9.4%	0 0.0%	149	65	88	80.7
(参考) R2年度	件数 割合	0 0.0%	7 5.5%	11 8.6%	30 23.4%	64 50.0%	15 11.7%	1 0.8%	128	66	90	80.0



④ 特命検査員検査実績

1) 検査実施件数

令和3年度の特命検査は前年度より6課室少ない9課で実施しており、完成検査が120件で前年度に比べ25件減（82.8％）で、中間検査は2件であった。検査件数全体としては前年度と比べ25件減の122件（83.0％）だった。

また、中間検査の2件は契約書第33条に係る本来の中間検査と出来高検査が各1件ずつである。

なお、これらの数値には繁忙期の特命（依頼）検査の実績は含まない。

2) 中間検査実施率

特命検査員による完成検査120件のうち、完成検査前に中間検査を実施した件数は、前年度と同様0件であった。地方検査員の中間検査実施率と比較しても非常に低い状況が続いている。

令和3年度特命検査員検査実施状況

発注者	区分	検査実施状況										平均工事成績点数	65点未満	85点以上
		中間検査(出来高検査等含)		完成検査		計		完成検査の内、中間検査実施数		中間検査実施率				
		内5百万円以上		内5百万円以上		内5百万円以上		内5百万円以上		内5百万円以上				
総務部 管財課	低入			1	1	1	1					81.0	0	0
	非低入			17	8	17	8			0.0%	0.0%	78.5		
	計	0	0	18	9	18	9	0	0	0.0%	0.0%	78.8		
環境生活部 自然保護課	低入												0	0
	非低入			1		1	0							
	計	0	0	1	0	1	0	0	0	0.0%	0.0%			
経済商工観光部 観光政策課	低入												0	0
	非低入	2	2	5	4	7	6					77.3		
	計	2	2	5	4	7	6	0	0	0.0%	0.0%	77.3		
水産林政部 森林整備課	低入												0	0
	非低入			1	1	1	1					75.0		
	計	0	0	1	1	1	1	0	0	0.0%	0.0%	75.0		
土木部 住宅課	低入												0	1
	非低入			7	7	7	7			0.0%	0.0%	80.0		
	計	0	0	7	7	7	7	0	0	0.0%	0.0%	80.0		
土木部 営繕課	低入												0	1
	非低入			13	13	13	13					74.2		
	計	0	0	13	13	13	13	0	0	0.0%	0.0%	74.2		
土木部 設備課	低入												0	0
	非低入			20	20	20	20			0.0%	0.0%	77.9		
	計	0	0	20	20	20	20	0	0	0.0%	0.0%	77.9		
教育庁 施設整備課	低入			13	11	13	11					79.0	0	1
	非低入			39	35	39	35			0.0%	0.0%	76.7		
	計	0	0	52	46	52	46	0	0	0.0%	0.0%	77.2		
県警本部	低入												0	0
	非低入			3	3	3	3			0.0%	0.0%	68.3		
	計	0	0	3	3	3	3	0	0	0.0%	0.0%	68.3		
合計	低入	0	0	14	12	14	12	0	0	0.0%	0.0%	79.2	0	3
	非低入	2	2	106	91	108	93	0	0	0.0%	0.0%	76.7		
	計	2	2	120	103	122	105	0	0	0.0%	0.0%	77.0		
(参考) R2年度	低入	0	0	17	15	17	15	0	0	0.0%	0.0%	77.5	0	5
	非低入	2	2	128	89	130	91	0	0	0.0%	0.0%	78.3		
	計	2	2	145	104	147	106	0	0	0.0%	0.0%	78.2		

(3) 工事の適切な施工について

完成検査においては工期内に工事が完成し、工事目的物が設計図書に適合していれば工事成績評定点数とは関係なく「合格」となる。

平成28・29年度の両年度1件ずつ発生した「不合格」工事は、平成30年度は0件となったものの、平成30年度末に2件の工事が完成に至らなかった。当該工事は完成届が提出された段階（契約工期外）で完成検査を行った上、「不合格」工事としての手続きを行い、令和元年度の不合格工事となった。令和2、3年度は該当する工事は無かった。

令和3年度の65点未満となった工事は、2件だった。

以上により、各発注機関における工事監督の適切な実施とともに、地方検査員所管工事においても中間検査等の実施により、施工段階における技術指導を強化願いたい。

①不合格工事の工事件数

年度	H20～H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
件数	0	1	1	0	2	0	0

②年度別65点未満の工事件数

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
件数	5	8	4	3	1	8	3	3	5	11	8

年度	R元	R2	R3
件数	6	3	2

③令和3年度65点未満の工事の内容

65点未満の内容	件数
過年度完成工事で指名停止処分等による修正の結果によるもの	1
完成図書や施工管理等に不備があったもの	1

粗雑工事事例

整理番号	R 3 - ①	公所等				
工事番号				工種	土木	【補助】
工事名	道路改良工事					
請負者				請負額	54百万円	
工期	R3.3.16	～	R4.3.25	完成月日	R4.3.17	完成検査日
成績評定	56	修正評定			修正月日	R4.3.25
内容	<p>●内容</p> <p>施工時に受注者の油断により事故を引き起こし、改善指示を行うなど安全対策に不備があった。また舗装工において、平坦性の管理基準は満たすものの、打ち継ぎ目に段差が生じていたため、56点の結果となったもの。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">「安全管理」でe評価「出来え」でd評価</p>					
備考						